

社会科 公開授業・授業研究会

授業者 玉村町立上陽小学校 三谷 悠也 教諭
平成26年11月12日(水) 第5学年



第5学年の「自動車をつくる工業」の単元において、討論形式による話し合い活動を行うこと通して、課題に対する自分の考えを比較・関連付け・総合しながら再構成する力を高める学習を行いました。



授業研究会では、「討論形式による話し合い活動を取り入れることは、児童の表現する力を高め、学んだことを活用するのに有効か」を中心に、授業者と参加者で一緒に協議しました。



【単元】5年『自動車をつくる工業』

【本時のねらい】

『もし買うなら、人に「やさしい車」「環境にやさしい車」のどちらか。』について討論形式で話し合うこと通して、人と環境の両方にやさしい自動車づくりをしていかなければならないことに気付くことができる。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・工業生産に従事している人々が、様々な工夫や努力をしていることを理解する力
- ・工業生産が国や国民の生活とどのようにかかわり、今後どのようにしていったらよいか考える力
- ・課題への自分の考えを、学習したことと比較・関連付け
・総合しながら再構成して表現する力



【手立て】

《指導プランP12》

課題について多面的に考え自分の意見をまとめるために、根拠をもって互いの考えを伝え合うとともに、作戦タイムを設けるなど、考えを構築したり練り直したりする討論形式の話し合い活動を行う。

授業の様子

1. 学習課題を確認する。

【学習課題】

話し合いを通して、これからの日本の自動車づくりについて考えよう。



多面的な考えをもつことができるように、立場分けは教師が意図的に行い、事前にそれぞれの立場の意見をまとめておきました。

2. 討論形式でテーマについて話し合う。

《実践の手引きP30 他者の考えと比較し、見直させる》

【テーマ】

『もし買うなら、「人にやさしい車」か「環境にやさしい車」か？』

「人にやさしい車」「環境にやさしい車」のよい点を自分の言葉で発表したり、相手への質問をしたりしながら意見交流をしました。

(1)「人にやさしい車」派、「環境にやさしい車」派それぞれの意見を発表する。



手だけで運転できる車があるので、足が悪い人でも安心して運転することができます。

この車は、リサイクルしやすい部品を使っているので、ゴミを減らすことができます。

(2)作戦タイム①



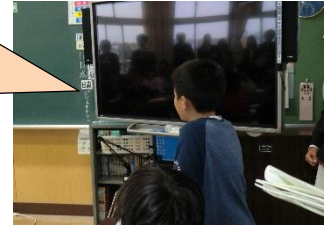
相手の意見を受けて、質問を考えたり、より説得力のある意見になるように話し合いました。

(3)自由に意見を発表する。



人にやさしい機能について、昔は年間約80万件起こっていた事故が、今は約60万件に減りました。

排気ガスで二酸化炭素が増えると、地球温暖化が進みます。そうすると動物が絶滅するなどして、人間にも影響があります。



2つの立場から、意見の裏付けになるような資料を提示し、意見の補足をしました。



(4)作戦タイム②



(5)自由意見・最終意見を発表する。



リサイクルをしてゴミは減らせても、明日の事故は減らせないのでは？

事故は減らせても環境がよくなると将来、たくさんの人間が死んでしまうのでは？



授業の様子

3. 立場を離れて、自分の気持ちを考える。

話し合ったことをもとに、自分の立場や相手の立場、様々な意見を比較・関連・総合して、自分の考えをワークシートに記入し、発表しました。



両方よい所と悪い所があるので、2つが合体した自動車が良いと思いました。



4. これからの自動車づくりで大切だと思うことをまとめる。 《実践の手引きP30》

今までの話し合いや友だちの発表、教師による「昨年度、最も売れた自動車の資料」をもとに、これからの日本の自動車づくりについて考えをまとめました。



生産者も消費者も、安全で環境にやさしい自動車づくりが大切だと思います。



5. 本時の学習を振り返り、まとめる

ワークシートに分かったことや思ったことを記入し、発表をして本時をまとめました。

人と環境は両方とも大切なんだね。また、安全と環境がお互いにつながっていることにも気付くことができたね。



【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・ 討論形式による話し合い活動は、子どもたちの多様な意見を引き出す上で有効であった。
- ・ 作戦タイムは、根拠をはっきりさせ自分の意見に対する自信をもたせることができた。



<改善点>

- ・ 討論としてはテーマに対立軸がない。2つの立場のよさを出し合うプレゼンなどの活動がよい。
- ・ 「どういう自動車がよいか」というテーマでの話し合い活動にしたらよかった。
- ・ ワークシートに書かせる量が多く、精選できるとよかった。

【参加者の声】

- ・ 自分の考えを比較・関連・総合・再構成していくことの大切さを学んだ。その手立てとして、作戦タイムで考えを練り直すことが有効だったと感じた。
- ・ 本時だけでなく単元全体の指導がしっかりできていると感じた。
- ・ 話し合いの途中で示した資料やまとめの部分で活用した資料が効果的だった。



【授業者の感想】

授業前の曖昧な部分が授業に出てしまった。討論ということ1つをとっても、形態、指名の仕方、テーマ、作戦タイムへの移行、まとめ方など、細かい部分でも工夫する必要がある。また、児童の実態を踏まえて手立てを組んでいかないといけないと思った。

今後もこの実践を生かし、子どもたちの気持ちに沿った話し合い活動をしていきたいと思う。

